

海外人材による出身国での「FUKUOKA」の導入プラン発表会

福岡市と福岡大学が共同開発した、廃棄物埋立技術である「福岡方式(FUKUOKA Method)」は、我が国発の環境技術として諸外国で高い評価を受けています。本年度の国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)ジャパンパビリオンでは、12月2日(土)に福岡方式のメタンガス削減をテーマにしたセッションも開催されます(*)。

国際協力機構では、福岡方式の運用に関する海外技術者の実践的な能力向上を目的に、10月15日(日)から11月25日(土)まで「準好気性埋立(福岡方式)処分場の設計・維持管理」研修コースを実施し、9か国10名の研修員を受け入れています。今回、各研修員による出身国での福岡方式導入に関するアクションプランの発表会について取材の機会を設けます。取材いただける場合は、11月22日(水)12:00までに以下の問い合わせ先までご連絡ください。

■研修参加者

10名(出身国:ブータン、エチオピア、ケニア、モザンビーク、パプアニューギニア、ペルー、サモア、南スーダン、バヌアツ)。

■取材対象日程

11月24日(金) 10:30~12:00, 13:00~15:30 アクションプラン発表会
16:00~16:30 閉講式

■場所

ふくおか環境財団(福岡市那の津 2-10-15)

■その他

- ・研修員リストは、取材時までにご案内いたします。
- ・スペースや時間帯により、取材可能人数等に制限が出る場合があります。

*<http://copjapan.env.go.jp/cop/cop28/exhibition/details/moe-fukuoka/>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 研修業務課 (担当 三浦、衛藤)
TEL 093-671-8360 FAX 093-671-0979
E-Mail Miura.Sho@jica.go.jp (@は半角に置き換えて下さい)